

## 令和 2 年 7 月豪雨災害に係る検証項目

**新**は H30 年 7 月豪雨災害検証との比較

**新** テーマ 1 コロナ禍における避難所運営、災害ボランティア等の受入

→小山准教授、栗田コーディネーター（事務局担当：岩垣津）

(1) 避難所における感染防止対策 【危機管理部、健康福祉部、商工労働部】

※感染防止対策徹底に伴う収容人数減少

(2) 災害ボランティア等の受入等

【危機管理部、総務部、清流の国推進部、健康福祉部】

① 災害ボランティアの受入体制

※市町村域に限定したボランティアの受入

② 応援職員・リエゾンの派遣、受入対応

※他県から熊本県への応援職員の感染

テーマ 2 実効性のある避難・情報提供のあり方

→高木教授、吉野准教授、小山准教授、村岡特任准教授（事務局担当：三浦）

(1) 避難情報の発令タイミングと発令エリア 【危機管理部、県土整備部】

※ 飛騨川の水位上昇（下呂市）、バックウォーター現象（白川町）  
土石流（郡上市）、地すべり（恵那市・土岐市）

※気象情報発表エリア見直しの検討状況

※大雨特別警報に準じる気象現象に係る情報の伝達・活用

(2) 避難情報発令後の住民の避難行動

【危機管理部】

※コロナ禍における住民の避難行動への影響

※「災害・避難カード」作成地域における住民の避難行動

(3) 高齢者、障がい者等災害時要配慮者への対応

【危機管理部、健康福祉部、県土整備部、県警察】

① 避難行動要支援者への避難に関する対応

② 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定

※熊本県内の高齢者福祉施設の浸水

(4) 多様な情報伝達手段の確保

【危機管理部、広報課】

① 行政による住民への避難情報の提供手段

※深夜・夜間における避難情報の伝達

② ローカルメディアによるきめ細かな情報提供

※L字放送、河川水位のリアルタイム映像の提供

### テーマ3 災害応急・復旧対策

→能島教授、高木教授、小山准教授（事務局担当：田原）

#### (1) 孤立集落への対応 【危機管理部、県土整備部、林政部、県警察】

##### ① 通信手段の確保、水・食料・生活用品等の確保

※旅行者や別荘居住者への対応

##### ② 孤立集落へ通じる道路の確保

##### ③ 迂回路として機能する林道

#### (2) 断水・停電時の対応 【危機管理部、健康福祉部、都市建築部】

##### ① 応急給水対応及び応急復旧対応

##### 新 ② 電力復旧対応

#### (3) 公共交通不通の際の対応 【都市公園整備局、環境生活部、教育委員会】

##### ① 鉄道の復旧事業に係る連絡調整

##### 新 ② 通学困難者に対する学習機会の確保

#### (4) 被災者支援対策～局地的な災害、ピンポイント被災に対する支援

【危機管理部、環境生活部、都市建築部】

##### 新 ① 被災者生活再建への支援

##### ② 災害廃棄物の円滑・迅速な処理

##### 新 (5) 文化財の被災への対応

【県民文化局】

※天然記念物（瑞浪市）の大スギの倒木

#### (6) 風評被害など観光への影響

【観光国際局】

### テーマ4 事前の防災対策

→神谷教授、沢田教授、原田准教授（事務局担当：木村）

#### (1) これまでの防災対策とその効果 【県土整備部、農政部】

##### ① 事前防災（予防）対策の推進

##### ② 浸水被害を防いだ治水事業

##### ③ ダムの事前放流の実施

##### ④ 土石流を防いだ砂防堰堤

##### ⑤ 道路の防災対策

##### ⑥ 農地防災ダムによる水位低減効果

##### ⑦ 湛水被害の軽減効果

##### ⑧ ため池決壊・流出対策

##### ⑨ 河川や砂防施設に流出した土砂・流木等の撤去

#### (2) 今回の災害を受けた対策～適応復興による対策

【県土整備部、農政部、林政部】

##### ① 今回の土砂災害の検証

##### ② 今回の山地災害、流木災害の検証

##### ③ 浸水被害が発生した河川等の検証

※バックウォーター現象